

山西福祉会館
2018. 3. 17.

中川米造先生追悼シンポジウム

中川医学史をめぐって

中川米造先生との思い出
思い出される7つのアドバイス

東北大学歯学部
永田和弘

中川米造先生追悼シンポジウム

中川医学史をめぐって

思い出される7つのアドバイス

永田和弘

於：山西福祉会館
2018. 3. 17.

中川米造先生のアドバイス 1

原典に戻りなさい

そのためにはあなた自身をしっかりと持ちなさい
漫画ではない 永田歯学史 を書きなさい

そのためには

原典に戻りなさい

私は今、東北大学で歯科医学史の非常勤講師をしています。

医学史に疎遠であった私にこの道を開いていただいたのはひとえに中川先生のおかげです。まだ、医学史には興味止まりであった私に本格的に医学史をしてみなさいと勧められたことがきっかけでした。

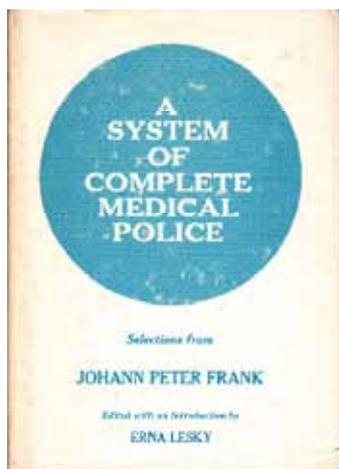
原点に戻りなさい

“そのためにはあなた自身をしっかりと持ちなさい”
漫画ではない 永田歯学史 を書きなさい。

“そのためには原典に戻りなさい”

原典に戻りなさいと言われても、英語しか …。

若桑みどりさんだったか「西洋美術史をしようとする者は、最低限度 英仏独伊ポ蘭をマスターせねばならない」とか。医学史も同様で、しかもその上にラテン語が加わり、さらには時代の前後の素養も必要となる。原典を読めば分かるといったものではない。例えば、血液循環で有名な W. ハーヴェーを理解しようとするれば、古代の血液循環の素養がないと読んでも分からない。



ペーターさんか、その辺にあるよ



私も息巻いて、褒めてもらいたく「ヨハン・P・フランクの Complete medical Polis を手に入れました」と報告しにいきました。

ご承知のように、ヨハン・P・フランクはドイツの医師で、病気の撲滅には医学の進歩よりも貧困、経済的貧困と医療行政の貧困に目を向けねばならないと今日の公衆衛生の基盤を築いた人です。私は中川先生から「歯医者さんをしていながら、よくその本を手に入れたね」と褒めてもらえると思っていました。

中川先生は「あ、ペーターさんか。そこら辺にあるよ。」教室の端っこに山積みされた本を指さして言葉を続けられました。

「ヴォリュームがあるから、読むのは大変だ。問題は、ペーターがそこに気が付いたということだ。」

原典に戻るといことは、古典的原典を読むことはもとより、その著者がどのようにしてそこに気が付いたかを知ることだと教えられたのでした。

一般医学史としてはかなり専門的なペーターの本が、雑然とその辺に転がっている。中川先生の博識に驚くとともに、難解孤高な専門書が身近に感じられた一瞬でした。

中川米造先生のアドバイス 2

どうしてパラダイムという言葉を使うのですか

あなた自身をしっかりと持ちなさい

他人の言葉で自分の考えを述べてはいけません

これが分からないお馬鹿さんなら

この教室から去りなさい

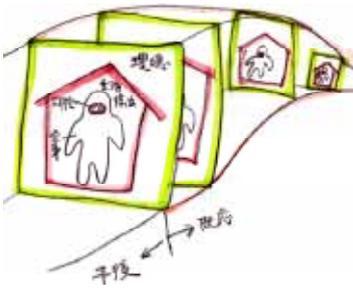
私には医学の進歩はパラダイムの転換の歴史に見えていました。1週間ほどかけて考えていた歯学史を論文の形にして中川先生の所に持ち込んだ。20ページはあった。先生は最初の1、2ページは目を通していただきましたが、後はパラパラと見て言われた言葉は「どうしてパラダイムという言葉を使うのですか。あなた自身をしっかりと持ちなさい。他人の言葉で自分の考えを述べてはいけません。」「パラダイムという言葉は、一般用語になっているのではありませんか」「これが分からないお馬鹿さんなら、この教室から去りなさい」このことは後にガレノスの言葉「主人を持つ者の仕事は奴隷の仕事である」と重なった。

中川米造先生のアドバイス 2

ヒポクラテスの観察眼

医療的観察

何一つ見落とすな



医療的観察

V.S.

科学的観察

1. 口腔の観察
2. 全身の観察

ヒポクラテスの歯と全身

3. 環境を含めた観察

生活様式

地域環境

4. 長期にわたる観察

既往歴 (問診)

現症

予後 (推察と観察)

虫歯は歯の病気ではない・

中川先生の眼は

『医学の弁明』から『医学の眼』へ

『医学の眼』から『医療的認識の探求』へ。

医療的観察の重要性を説かれた。

科学的観察ではなく医療的観察が大事。

私自身の臨床体験をお話させていただこう。

幼稚園児の患者さんで、母親が言うのには「銀歯の所が痛むのです。「銀歯」「銀歯」といじめられます。」はたして銀歯の中では虫歯が進んでいました。虫歯の治療をして、銀歯ではなく歯の色でかぶせて修復を終えた。母親は非常に喜び、「先生、すごい！ God Hand だ。」

God が Devil に転換するのに5秒とかからない。帰りしなに母親はお礼の言葉を言った。「ありがとうございました。〇〇ちゃん、またこれで安心して甘いものが食べられるね」

いいですか。ここからが大事な話です。本当に、健康ならば虫歯にも歯周病にもならない。体や心が弱った時に、口腔に病変が現れる。虫歯を歯の病気と見てしまうと、身体との関連が消えてしまう。

その子供の身体はどうか。その子供の精神状態はどうか。その子供はどのような生活環境に置かれているのか。その子供の生活の歴史はどうだったか。病気は局所に局在しない。病気は医療的観察のもとに置かれねばならない。ペーターではないが、その子供に必要なのは、医療的技術ではなく、貧困 - 医療思想の貧困からの脱出である。

中川米造先生のアドバイス 4

「病気は局所に局在する」ビシヤ

ビシヤに対する批判の眼

医学史編纂は「鉄と糊」ではいけない

視野の枠組みをもっと広くとりなさい

貧困が病気の原因

経済的貧困

医療行政の貧困

医療的認識の貧困

「あなた自身をしっかりと持ちなさい」は医学史編纂にも現れる。中川先生の際立った点は、先生独自の物の見方でしょう。先生の医学史は、あちこちの文献から切り取ってきて繋ぎ合せた歴史書ではありませんでした。

例えば、

現代医学の基盤を与えたといわれるビシヤ。あまりにも短命に終わったビシヤにはほどの教科書にも、例外なしに惜しまぬ賛美と追悼を述べている。

中川先生のビシヤへの批判は旧来の枠を完全には脱し切れていないことに対してではなく、医学の礎を要素主義にしてしまったことへの警戒心だった。医学史編纂は「鉄と糊」だけではいけない。

中川米造先生のアドバイス 5

簡単な言葉にこそ注意なさい



このカーネーションは自然かね

自然の概念

自然の東洋と西洋

自然について考えてみなさい

中之島の医学部の玄関を入ったところに「医学概論教室」がありました。

教室の向かいに小さな小部屋があってそこで中川先生と二人きりの授業をうけたことがありました。

「さて、何を話そうか」と切り出されたのが「自然とは何か」でした。

目の前のカーネーションを指さして「これは自然かね」「え？」

「造花ではないから、自然と言えるかもしれないが、切られて花瓶に挿しこまれている。これは不自然」「はあ」

「では、切られる前は自然かといえば、売られるために栽培されて、密集して咲いている。自然じゃない。」

話は発展して、日本の自然と西洋の自然とは概念上違うところまでできました。

「簡単に思われている事柄も考えてみれば、簡単ではない。」

「永田君にテーマを出そう。『咬む』と『自然』を考えてみなさい」



聖フランチェスコ
ジョット

これはイタリアのアッシジにあるジョットのフラスコ画「聖フランチェスコ」です。

言葉の分からぬ小鳥にさえ説教をする敬虔なジョットの姿です。

西洋のキリスト教においては、神は人間を作り、人間のために自然（動物を含む）を作ったとされています。

そこには、自ずと人間上位・自然下位が決められています。

この図は、上位なる人間が下位なる動物に語りかける図となっています。



明恵上人
高山寺蔵

ほとんど同じ時期を生きた、こちらは明恵上人の姿です。

瞑想しています。

この図からは分かりにくいですが、左上方の木の上のリスが明恵上人を見えています。

小鳥も5羽ほど飛んでいます。

明恵は自然と一体化して、リスになり、小鳥となり、風となって林の中を抜けていきます。

自分が自然よりも上位だなんて、発想以前のことです。



同じ宗教人で、同じ時代であっても、この画像の意味はまったく異なるのです。

よく「事実の一つ」と言われますが、ひょっとしたら、具体的な「事実」も東西、過去と現在、私と貴方では異なるのではないのでしょうか。

学会で事実とされてきたことが、時代が変われば、事実ではないことがあります。

事実とは何か

「事実が事実になるためには人間行為の手が加わっている。」
D' Arcy, M.C.

「事実は歴史家が訪ねてくるときにだけ語る。歴史家から独立した事実を信じるのは本末転倒である。」
Carr, E.H.

「諸事実から理論を作り出そうとしている人々は、諸事実を事実に仕立てたものこそ理論に他ならないことを理解したことがないのです。」

Jones, G. Stedman

今は亡き中川米造先生 ありがとうございます。

中川米造先生のアドバイス 6

事実とは何か
これは哲学である



重要なことは Fact であつて、Truth ではない。
Truth に興味のある人は哲学教室へ行け。
インディ ジョーンズ『最後の聖戦』

中川米造先生のアドバイス 7

新しい医療
新しい医学史
新しいものの見方

を探究しなさい

中川米造

中川米造先生 略歴

日本で唯一の「医学概論」の専門家。
環境医学、医療人類学など新しい概念を提出。
科学や政治が主導する肅々とした「患者本位の医療」ではなく、「医学を語ることができ、患者を見ることができ、医療と患者との関わりに判断ができる患者側に立った医療」を提供しなくてはならないと訴えた。

1926年 京城（現ソウル）に生まれる

1949年 京都大学医学部医学科卒

1950年 京都大学医学部耳鼻科助手

1955年 大阪大学講師（医学概論）

1964年 大阪大学助教授

1980年 大阪大学教授（環境医学）

1989年 滋賀医科大学教授

1994年 大阪国際女子大学

1996年 仏教大学教授

1997年 逝去

『医学を見る眼』NHK ブックス、『医学の弁明』誠信書房、『医療的認識の探求』医療図書出版、『健康の思想』潮出版、『医の倫理』玉川大学出版部 他

中川米造追悼シンポジウム 山西福祉会館
2018. 3. 17.

ご清聴ありがとうございました

東北大学歯学部
永田和弘